



山都警察署・署協議会だより

TEL 72-0110

熊本県警のホームページ
https://www.pref.kumamoto.jp/police/
管内の犯罪・交通事故の発生状況、県警から
のお知らせ等が掲載中です。

11月25日から12月1日は「犯罪被害者週間」です

犯罪被害にあわれた多くの方は、直接的な犯罪被害だけでなく、被害後の精神的なショック、生活面や経済面での不安など、二次的な被害に苦しんでいます。警察では、このような被害者の方々を支援する制度や専用の相談窓口を設けるとともに、被害者の方々の置かれた現状や被害者支援の重要性について、県民の理解を求めめるための活動を行っています。

警察における被害者支援

- 捜査の流れや支援制度の案内を記載した手引の交付
- 指定された職員による被害者支援
- 捜査状況等に関する被害者への連絡制度
- 診断書手数料、処置料等の公費支出
- カウンセリング費用の公費支出制度
- 再被害を防止するための制度
- くまもと被害者支援センターとの連携
- 関係機関団体との連携

警察の相談窓口

警察安全相談室
(警察の総合相談窓口)
196-383-9110
又は # 9110

犯罪被害者支援室
(犯罪被害支援・犯罪被害給付制度に関する相談窓口)
096-381-0110
(内線 2193 ~ 2195)

性犯罪相談電話
(性犯罪被害に関する相談窓口)
0120-8343-81
096-384-1254
又は # 8103

肥後っ子テレホン
(いじめ、少年非行等の少年問題専用相談窓口)
0120-02-4976
096-384-4976

※ 詳しくは熊本県警察のホームページをご覧ください

振り込め詐欺相談電話
096-381-2567

ホンデリングで被害者支援～本でひろがる支援の輪

ご自宅等に不要な書籍はありませんか？
その本が、犯罪被害に遭われた方々への様々な支援活動に活用されます。
本「1冊」のできる支援があります。
あなたの1冊の本から支援の輪を広げていきましょう！！
不要な書籍がありましたら、山都警察署又は駐在所までお持ちください。
※必ず書籍にISBN（国際標準図書番号）があることを確認してください。
対象外となる本がありますので、不明な場合はお問い合わせください。

ISBNの見本



YouTube 動画「ゆっぴーと学ぼう!! あんしんネットスクール」

今般のコロナ禍の現状においても、子どもたちのネットトラブルが絶えない状況です。そこで、子どもたちの利用が多い YouTube の啓発動画を熊本県警察のホームページに掲載しています。

親子で視聴し、家庭でスマホ等のルールを見直すきっかけにしてください。

右のQRコードを読み込むと、『肥後っ子サポートセンター』の動画サイトにつながり、視聴できます。



交通安全標語 令和元年度受賞作品

- ・よかこつぱい 免許返納 自分から
- ・やさしい運転 あなたを守り みんなも守る

井上 葉那 (矢部中3年)
坂田和嘉子 (一般)



町長室から 梅田 穰

4月下旬から休館していた道の駅そよ風パークの物産館が10月31日オープンしました。多くの方々にご迷惑とご心配をお掛けしておりましたが、出荷者、来場者、スタッフの方々の笑顔に接し、少し安堵したところです。レストラン、宿泊施設等については早い再開を目指して準備を進めているところです。

紅葉の時期を迎えています。今年はコロナ禍の影響で各地のイベントが中止となっていますが、山都の自然を求めて、蘇陽峡、服掛松キャンプ場、御所オートランド等に多くの町内外の方々が来られ大変賑わっていました。今後もアウトドアに対する受け入れ態勢の充実に取り組んで参ります。

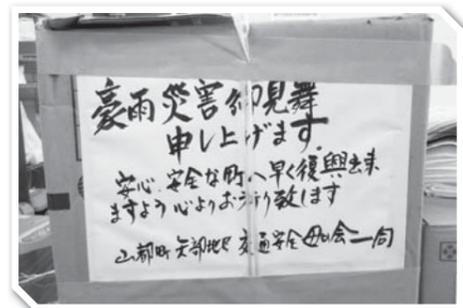
九州中央自動車道「蘇陽～五ヶ瀬東」間が本年度事業化となり測量等の現地調査が行われています。測量の際には関係者の皆様に格別のご協力をお願いします。早期の工事着工を目指します。

また「矢部～蘇陽」間につきましても計画段階評価が始まっており、早い時期での事業化に向けて国・県等関係機関への要望活動を強めてまいります。

山都町社会福祉協議会へ寄付ありがとうございます

いただいた香典返し(寄付金)は地域福祉の活動に使わせていただいております。

写真は「交通安全母の会」のみなさまからタオルを寄贈いただきました。寄贈品は豪雨被災地へ届けました。



山の都地域しごとセンター通信 vol.36

山の都地域しごとセンターを經由した移住者が100名を超えました。

山の都地域しごとセンターは平成27年度から移住定住の窓口として移住の相談対応や空き家への入居サポートを行っています。山都町への移住に繋がった方がついに100名を超えました。今でも移住の問い合わせや空き家家に関するお尋ねも年々増えています。

また、山都町へ移住された方も、地域活動や農業の担い手として活躍されています。今後も「山都町に住んでみたい」「山都町に住み続けたい」の声に寄り添っていきます。

事業年度	世帯数	人数
平成27年度	5	9
平成28年度	6	25
平成29年度	8	12
平成30年度	13	23
令和元年度	16	28
令和2年度(9月30日まで)	10	21
合計	58	118



山の都地域しごとセンターを經由した移住者数 令和元年12月の移住者交流会の様子

編集後記

今月号は交通安全について特集を掲載しました。反射材の有無や車のライトの向きで運転手からの見え方の差の大きさが予想より大きかったので驚きました。

車の走行時のライトは基本が上向き(ハイビーム)で、先行車がいる時や対向車とすれ違う際に下に下向き(ロービーム)に切り替えましょう!

歩行者の方は夕暮れ時以降、外に出る際は、明るい服や反射材の着用をお願いします! 運転者・歩行者が交通安全意識を高め、交通事故ゼロを目指しましょう!

(坂本奈)